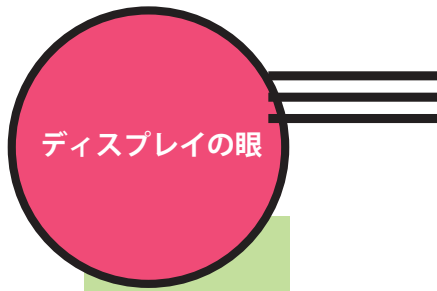


ディスプレイ憲章

ディスプレイは
主題を空間に演出する伝達技術である
われわれは
企業間の相互理解に立ち
業界全体の繁栄をはかると共に
創造に徹し
技術を磨き
ディスプレイを通じて
社会に貢献する

CONTENTS

ディスプレイの眼 ディスプレイ?	・ ・ 1
第 51 回通常総会開催	・ ・ 2
暑中お見舞名刺広告	・ ・ 3
新入社員教育研修	・ ・ 6
Next HERO わが社の新人紹介	・ ・ 8
東京デザイン巡り 2k540 編	・ ・ 10
第 45 回東デ協親善野球大会	・ ・ 12
表紙デザイン大募集	・ ・ 14
新規加入組員紹介	・ ・ 15
編集後記	・ ・ 16



ディスプレイの眼

ディスプレイ?

東京ディスプレイ協同組合の広報委員としての活動と同時に、日々の業務で企業広報を担当しており、われわれディスプレイ業をメディアの方に紹介する機会があります。

記者の方と接する中で強く実感するのは、専門紙(誌)を除く一般のメディアでは、ディスプレイという仕事が十分に認知されていないということです。「ディスプレイ」と言うとモニターのディスプレイを想起される方も時折いらっしゃいます。

手がけた施設やイベント等を具体的に紹介すると「行ったことがあります。」とか「夢のある仕事ですね。」といった声をいただくこともありますが、そういった場を誰がつかっているのかということまでは、なかなか知るきっかけがないというのが実情のようです。

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催等を契機に、東京の街が今後変化していく中で、われわれが活躍する機会も増えていくことと思います。

そうしたプロセスで「リアルな空間の魅力を最大限に高める」というディスプレイ業の持つ力をフル活用していただくためにも、われわれの仕事やポテンシャル等について、メディアも含めて世の中にもっと知ってもらおうという働きかけが、今まさに必要なのではと感じています。

さてそんな中、8/1(金)・8/2(土)には日比谷公園で、東京ディスプレイ協同組合の創立50周年記念イベント「超・お祭り。」が開催されます。組合員の皆さまはもちろん、そのご家族や、一般来場者の方にも広く参加いただき、様々な切り口からディスプレイ業に触れてもらう場になればと考えております。皆さまご支援の程よろしくお願い申し上げます。

広報委員 戸田 圭亮 / (株)丹青社



表紙デザイン
鎌田 修 /
株式会社ジールアソシエイツ

東京ディスプレイ協同組合が50周年をむかえるということで、その歴史を50層の地層で表現。この業界を彩ってきた、システム、経師、パンチ等のマテリアルが積み重なり、層を構成している。